

国分寺市新庁舎建設工事（設計・施工）事業者選定
公募型プロポーザル
審査結果報告書

令和3年2月

国分寺市

1. 審査結果

区分	整理番号	参加者名
優先交渉権者	K J	竹中・石本・セット設計特定建設共同企業体
次点者	K I	
第3位	KN	
第4位	KU	
第5位	KB	

2. 優先交渉権者について

竹中・石本・セット設計特定建設共同企業体

代表構成員 株式会社竹中工務店

構成員 株式会社石本建築事務所

構成員 株式会社セット設計事務所

3. 各参加者の評価結果

整理番号	評価点				提案金額	総合評価 (100点)
	実績評価 (10点)	技術提案 評価 (70点)	市内企業 との連携 等の評価 (10点)	提案金額 評価 (10点)		
KB	10.00	44.30	8.46	10.00	8,917,200,000 円	72.76
KU	10.00	49.60	4.80	10.00	8,916,200,000 円	74.40
KN	10.00	47.30	7.68	10.00	8,910,000,000 円	74.98
KJ	10.00	48.20	10.00	10.00	8,916,777,000 円	78.20
KI	10.00	54.20	1.61	10.00	8,916,800,000 円	75.81

※技術提案評価の評価点は、5名の審査委員の平均点（小数点第2位までを表示）です。

※市内企業との連携等の評価は、審査基準に示す評価式に基づき算出しています。

※提案上限金額は、9,908,000千円です。

※提案金額及び提案上限金額は、消費税相当額を含みます。

4. 選定方法・過程

公募型プロポーザル方式を採用し、一次審査及び二次審査により優先交渉権者及び次点者の選定を行った。選定にあたっては、専門的かつ公正な審査を行うため、学識経験者等により構成する「国分寺市新庁舎建設事業者選定審査委員会（以下、審査委員会という。）」を設置し、審査委員会が審査を行った。なお、審査委員には参加者名を開示せず、各者に整理番号を付与して選定を行った。

(1) 参加状況

参加表明書提出者が5者あり、5者から技術提案書等の提出があった。

(2) 一次審査

参加者の実績、技術提案及び市内企業との連携等について書類審査を行った。選定の結果、5者とも二次審査対象者とした。

(3) 二次審査

技術提案書に記載された技術提案及び地域貢献についてのプレゼンテーションを行い、ヒアリングを実施するとともに、提案金額の審査を行った。提案金額については、技術提案評価を確定した後に、提案金額見積書を開封し、審査基準に基づき評価した。

審査委員会による審査の結果、整理番号K Jを優先交渉権者として、整理番号K Iを次点者として選定した。

(4) 審査委員会委員の構成

区 分	氏 名	役職名 等
委員長	中井 検裕	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
副委員長	村上 正浩	工学院大学建築学部教授
委員	田中 哲実	元東京都職員
委員	山岸 絵美理	大月市立大月短期大学経済科准教授
委員	吉野 泰子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 日本大学大学院生産工学研究科非常勤講師

5. 選定スケジュール等

項目	期間等
プロポーザルの実施の公表	令和2年 9月 9日（水）から
参加表明書受付	令和2年 10月 12日（月）から 令和2年 10月 14日（水）まで

VE対話	令和2年11月11日(水)
VE対話結果の通知	令和2年11月17日(火)
技術提案書等受付	令和2年12月21日(月)から 令和2年12月24日(木)まで
一次審査	令和3年1月13日(水)
一次審査結果通知	令和3年1月14日(木)
二次審査	令和3年1月26日(火)
二次審査結果通知	令和3年1月28日(木)

技術提案評価の審査講評

国分寺市新庁舎建設工事（設計・施工）事業者選定につきましては、5者に参加いただき、いずれも本事業に十分な技術力や体制を有しておりました。技術提案においては、本事業の計画内容を十分に理解されており、優れた提案を行っていただきました。特に、災害対策拠点というコンセプトから、防災や構造計画に係る項目において、各者とも遜色のない、特色を活かした素晴らしい提案をいただいた印象です。

提案書に基づくプレゼンテーション、ヒアリングにおいても、5者とも意欲的なプレゼンテーションと質疑への的確な対応を行っていただきました。

その中で、優先交渉権者（整理番号K J）の高く評価された主な提案は、以下のとおりです。

- ・市内企業との共同企業体の組成や、地域貢献金額が5者中最高額であったなど、非常に高い地域への貢献意欲が提案されていました。
- ・独自技術による免震装置の採用により、大地震に対する安全性を確保し、また、災害後の業務継続を円滑にする提案がなされていました。また、地下水（湧水）への影響を抑える地盤改良工法の提案など、技術力の高さを示す提案がありました。
- ・施工業務の提案について、監理業務の第三者性の確保、安全管理手法、引き渡し後のフォローアップ手法についての優れた提案がありました。
- ・設計の合理化や地下工事の工夫により工期を短縮し、設計期間の充実につなげる提案がありました。
- ・市民利用に配慮し、視認性の高いE V・階段の配置計画が提案されるとともに、庁舎1階の多目的スペースは、建物内外の一体利用、エントランスとの一体利用を想定し、機能的な配置が検討されていました。
- ・プレゼンテーション・ヒアリングにおいて、明確な説明・回答を行っており、提案に対する自信や、検討の裏付けが十分に確認できました。

短い期間にもかかわらず、優れた提案を作成された参加者皆様におかれましては、審査委員一同より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。